

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	文化に関する表彰式の開催	スポーツ・生涯学習課	市の文化の向上及び発展に関して特に顕著な功績を上げた方々を表彰することにより、当市の文化の振興を図る。	文化協会等関係各機関 170 団体へ推薦依頼した結果、9名の推薦があった。委員7名による表彰審査会（7/31）を開催し、意見を伺い各賞を決定した。 文化賞 滝 沢 哲 雄 文化功労賞 下 田 キ ヨ 古 館 千 代 志 水 野 成 弘 大 川 典 子 宮 内 香 宝 文化奨励賞 川 村 幸 恵	384,940	○成果 市褒章授与式と合同開催となったことで、表彰式が多くの人を来賓を迎えての厳かなものとなり賞の重みが増したものとなった。受賞者や後進に続く方々の励みにもなり、市の文化振興に寄与するものと思われる。 ●課題 合同開催で賞の重みが増した一方、市民文化祭最終日と重なったことで4名の方がご本人と同伴者のみの出席となり課題を残した。	A	継続
		市民文化祭の開催	スポーツ・生涯学習課	市民の文化活動を一堂に集め、その公演・展示の場として文化祭を開催することにより、様々な分野や世代を超えた交流を深めると共に、相互の連携を図りながら当市の文化の向上及び活性化を図る。	・舞台部門…26団体(11月4日～5日) 秋のスペシャルコンサート、舞と躍動、吟詠、謡と仕舞、演劇 ・展示部門…27団体 個人…15人(11月4日～11月5日) 手工芸展、陶芸展、蘭展、いけ花展、文芸展、盆栽展、自然界展、美術展、水墨画展、書道展、写真展 ・オープニングセレモニー (11月4日 10:00 文化センター セントランスホール) 開会宣言 開会のあいさつ 祝辞 テープカット	312,000	○成果 実行委員を中心に、参加者全員で協力して企画・運営するスタイルが定着しつつある。市民の手で文化・芸術の発表の場を作り、広く市民に公開する文化祭の理想形に近づいている。 ●課題 出品・出演者において高齢化している。学生をはじめとする若年層の参加により、活性化するとともに入場者数も増えると思われるので、若年層の参加を呼び掛けたい。	A	継続
		ジュニアオーケストラ十和田定期演奏会	スポーツ・生涯学習課	演奏活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の音楽に対する関心を高め、文化の振興を図る。	ジュニアオーケストラ十和田 第15回定期演奏会(入場無料) 【プログラム】 第1部 「チャイルドレンズ・マーチ」他5曲 第2部 「運命の力」序曲 他3曲	62,640	○成果 節目となる15回記念演奏会を祝い本楽団OBも出演した。大人になっても音楽を継続し楽しんでいる姿は、本楽団が目標とするところであり、文化人を育成する良い循環のかたちが見えてきた。 ●課題 入場者数の減少、高校生以上の団員減少が課題となってきている。	A	継続
		十和田市子ども劇団公演	スポーツ・生涯学習課	子ども劇団の育成を通じて、児童生徒の創造性と豊かな感性を育むとともに、文化の振興を図る。	演 目:「たるべの森のニポポ」 入場料:無料 委託先:十和田市子ども劇団育成会 会長 工藤 秀信	285,000	○成果 故郷が舞台のストーリーであり、出演者、観客ともに、仲間を思う気持ちやふるさとを愛する心を醸成する公演となった。 ●課題 同日大きなイベントが併催されたこともあり入場者数が少なかった。また、劇団の認知度も低い。宣伝を活性化し、劇団の魅力を発信していくことが必要である。	A	継続
		十和田市民合唱祭	スポーツ・生涯学習課	市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化に対する関心を高め、文化の振興を図る。	十和田市民合唱祭 入 場 料:無料 参加団体 三本木小学校合唱部、南小学校合唱部、十和田中学校合唱クラブ、みなみ大学、十和田湖コーラス愛好会、コーラス四季、コールアゼリア、とわだ混声合唱団	117,504	○成果 節目となる30回を迎え、団体間のつながりもでき、ステージの内容が充実してきている。 ●課題 出演者の高齢化により、歌いたい方が支えが必要な方や、平台・指揮台に上がれない方が増えてきた。今後も出演していただけるようソフト・ハード面ともにサポートが必要である。 入場者数減少は企画のマンネリ化も一因のため、新しい企画を試みたい。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	ゼルコバアンサンブルコンサート	スポーツ・生涯学習課	市民にクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、心豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。	ゼルコバアンサンブルコンサート(入場無料) ゼルコバアンサンブル 高橋幸男 チェロ 石川泉 ヴァイオリン 藤原つや子 フルート 今田文子 ピアノ	16,200	○成果 入場者190人は近年で一番多い。また、アンケート集計によると、初めて見たという人が37%(昨年24%)と多かった。ポスターにメンバーの写真を載せ、カラーで印刷したことが効果的であった。 ●課題 本来の結成目的から学校訪問ミニコンサートにつながるような工夫を検討したい。 高齢者の反応が良好なため、高齢者向けの企画なども検討していきたい。	A	継続
		十和田市サマーフレッシュコンサート	スポーツ・生涯学習課	十和田市にゆかりのある若手演奏家の活動機会と芸術文化活動を担う人材育成を図る。	十和田市サマーフレッシュコンサート 【出演者】 村田 妃菜子(ピアノ) 石田 海(バリトン) 笹谷 侑大(トランペット) 田中 結(ピアノ) 阿部 史歩(ヴァイオリン) 濱岡 珠恵(サクソフォーン)初 田中 翔(テノール) 山下 実希(サクソフォーン) 平 真子(ピアノ)	28,905	○成果 今回は、出演者による特別ユニットのサクソデュオ演奏やピアノ2台によるコンチェルトなど多彩なプログラムが組み込まれた。 今回からアンケートを実施。客層(60~70代が多い)などが把握できた。また、出演者に対しても感動の声や応援のメッセージがたくさん寄せられ、出演者も来年も出たいと話すと、観客・若手音楽家の両者にとってよい機会となった。 ●課題 出演者や実行委員から来年はぜひ大ホールで行いたいとの声があった。ホールに見合う集客活動をしなくてはならない。	A	継続
		第三ステージ支援事業	スポーツ・生涯学習課	文化センターの空き施設を無償で提供することにより、施設の有効活用を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与する。	第三ステージ支援事業 紙しばい倶楽部とわだ「紙芝居劇場スペシャル」	0	○成果 参加団体が自ら企画・運営しているもので、市民も気軽に文化芸術活動にふれることができ、地域の活性化やまちづくりにつながると思われる。 ●課題 十和田市民文化センターに指定管理者制度が適用され、公演の施設・備品の利用料は自費負担が原則となっているなか、今後も市主催事業として減免を継続するか検討の余地あり。	B	継続
	2. 文化財の保護、活用	伝統芸能まつり開催	スポーツ・生涯学習課	県及び市の文化財に指定されている市内の伝統芸能を広く市民に鑑賞してもらうことにより、文化財愛護精神を普及させる。また、民俗芸能の実演機会を設けることにより、伝承活動の活発化と後継者の育成を図る。	各地区の伝統芸能保存団体(計7団体)と、小中学生を中心とした後継団体(計5団体)が芸能を披露。また、招待団体として、秋田県由利本荘市から「下直根講中」を招待し開催した。 【プログラム】 ①南部深持神楽保存会「権現舞」②南部駒踊滝沢保存会・後継者「南部駒踊・七ツ道具」③沢田鶏舞保存会・後継者「鶏舞」④下直根講中「祓い獅子・品ごき・御神楽」⑤南部駒踊上館保存会・後継者「南部駒踊・へいそく舞」⑥南部洞内神楽保存会・後継者「番楽」⑦沢田鶏舞保存会「鶏舞」⑧南部洞内神楽保存会「三番叟」⑨南部駒踊滝沢保存会「南部駒踊」⑩晴山獅子舞保存会・後継者「一斉歯打ち・剣舞」⑪南部駒踊上館保存会「南部駒踊・へいそく舞」⑫晴山獅子舞保存会「翁舞」⑬洞内南部駒踊保存会「剣舞」	0	○成果 今年度も、十和田市伝統芸能協会・十和田市伝統芸能継承事業実行委員会の協力により、外部から招待芸能を招待し、開催することができた。 ●課題 今年度は、前年度より入場者数が落ち込んでしまったため、事業の周知により力を入れる必要がある。	A	改善

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	2. 文化財の保護、活用	文化財パトロールの実施	スポーツ・生涯学習課	市内に所在する史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地の保存状況や現況を把握するため。	青森県教育庁文化財保護課で実施している文化財パトロール事業と共催する形で行っている。本年も文化財保護指導員丸 慶一氏、漆館 哲氏の2名で9日間、市内63ヶ所のパトロールを実施した。	0	○成果 9日間、市内63ヶ所の文化財パトロールを実施し、文化財等の現況を確認した。調査の結果、無届の土木工事等は確認されなかった。 ●課題 文化財保護指導員も高齢化になってきたため、後継者の選定が必要となる。	A	継続
	3. 郷土館及び十和田湖民俗資料館の整備・充実	郷土館企画展及び移動郷土館の実施	スポーツ・生涯学習課	博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究をするとともに、郷土の歴史及び文化を深く理解してもらう。	(企画展) 企画展「滝沢家文書展」「講演会」「フォーラム」 滝沢家文書翻刻集 150部 (移動郷土館) 小学校12校538名(児童504名、引率等34名) (常設展示) 市内の遺跡から出土した考古資料や、江戸時代の古文書、民具、馬具、機織り機、軍馬補充部関連の資料を展示。 (資料寄贈) 寄贈点数 41点 (資料貸出等) 貸出件数 3件 貸出点数45点 掲載許可 2件 放送許可 1件	8,116,830	○成果 今年度も多くの小学校からの希望があり、移動郷土館を実施することができた。 ●課題 様々な企画展等を実施して、入館者の増加に努めていきたい。	A	継続
		十和田湖民俗資料館事業	スポーツ・生涯学習課	貴重な民俗資料を保管、公開し、郷土の歴史、文化についての理解を深めるとともに、見学体験事業を展開するなど学習機会の提供に努める。	≪郷土資料の展示、保存・活用≫ 国指定重要文化財・旧笠石家住宅の公開・保全と、地域住民から寄贈された民俗資料(農林業の道具、家具、食具、衣類等)の展示・保存・活用 ≪子ども見学体験事業≫ 主に小学校児童を対象とした、旧笠石家住宅や館蔵資料を活用した昔の暮らし体験の実施。小学校6校305名	3,092,799	○成果 子ども見学体験を市内外小学校6校を対象に実施。郷土の歴史と文化についての理解を深めることができた。 ●課題 屋根の葺き替えから間もなく20年を迎えることから、今後屋根の葺き替えを検討する必要がある。	A	継続

○評価事業総数	132 件
○総合評価	A 127 件
	B 5 件
	C 0 件
○今後の方向性	継続 127 件
	改善 2 件
	休止 1 件
	廃止 2 件